

2011年3月15日

FAI IGC2011年総会報告

(社) 日本滑空協会常務理事 IGC Delegate 甲賀 大樹

本年度 IGC 総会はスイス ローザンヌ オリンピックミュージアムで3月5日(金)および6日(土) 9:15 から 17:30 まで、昼食、コーヒブレイクを除いてびっしりのスケジュールで審議されました。

議決事項 **は Year 1 の決定で完全な最終決定ではありません。

(1) 将来の世界滑空選手権大会

- * 現在、15m、18m、Open のフラップ付3クラス、およびスタンダード(Std)、Club、World のフラップ無しクラスを偶数年に2箇所で開催しており、来年(2012)、米国テキサス州で15・18・Openが、アルゼンチンでStd・Club・Worldが開催されます。
- ** 将来、後者をStd、Club、および20m複座の編成に変え、偶数年開催にします。
- * WorldクラスはPW-5だけの競技から下記新規格機に変更されます。現在のPW-5世界選手権大会は2014年10月1日が最後になります。
新Worldクラス規定は翼幅13.5m以下、翼面加重35kg/m²以下のみ。水バラスト、フラップ、引込脚採用可能で、より手軽な機体を最新技術で開発する意欲を現し、2015年から単独で奇数年に開催にされます。
- * 20m複座は扱い難いOpenクラスに比較して気軽で高性能、大量出荷されたDuoDiscus、DG500、DG1000による競技で、二人のパイロットの協同作業が魅力です。
- ** 各国からの参加枠はStd、Club両クラスは2名/NAC、13.5mは4名/NAC、20m複座は1チーム/NACで、2名とも同一NACのスपोर्टィングライセンス所有者の必要があり、両名とも選手権者になります。注：NAC National Airsport Control FAI各国支店
- ** Clubクラスは各機種ごとにハンディキャップを付け、古い機体でも競技に参加できる意図で導入したものです。機体にはハンディキャップとともにレファレンスウエイトが規定されておりましたが、これを削除することになりました。こっそり主翼内などにおもりを固定して翼面加重を上げる不正を無視して簡素化を図ったものです。

(2) 諸規定

- ** 50000ft MSL以上の諸高度記録申請にはIGC GFAC承認のフライトレコーダー(GNSS)の高度記録値が必須となります。GNSS：Global Navigation Satellite Systems
- ** スポーティングコードから、パイロットと機体の特定確認要件を除外する。全ての記章申請飛行で、パイロット名と機体名はフライトレコーダーのフライトログに含まれている。
- ** 世界選手権あるいは大陸選手権で3位以上のチームのチームキャプテンにメダルを授与する。
- ** 銀章および金章高度課目にGPS記録結果を認めることとなります。

- (3) 将来の競技会開催地 決定済
- 33rd. World Gliding Championships 2014
- 15・18・Open : Leszno Poland (平野)
- Club・Std・20mMulti : Rayskala Finland (平野だが湖が多い)
- 17th. European Gliding Championships
- 15・18・Open : Vinon France (山岳地)
- Club・Std・20mMulti : Ostrow Poland (平野 Leszno の東)
- (4) 表彰 実際に出席している Delegate による直接投票で決定済 (代理投票無効)
- Lilienthal Medal Reinar Rose (独) On Line Contest 創始者
- Pirat Gehriger Diploma Tony Burton(カナダ) 長年の貢献
- Pelagia Majewska Medal 申請無しのため授与されませんでした。
- (5) IGC 幹部選任 (任期2年) 決定済
- 会長 : Bob Henerson (ニュージーランド) 重任
- 筆頭副会長 : Eric Mozer (米国) 重任
- 副会長 : Geran Ax (スウェーデン) 重任
- Visa Matti Leinikki (フィンランド) 重任
- Beian Spreckley (英国) 重任
- Rolland Stuck (仏) 重任
- Rene Vidal (チリ) 新任
- 事務局長 : Peter Eriksen (デンマーク) 重任
- (6) 来年の IGC 総会 決定済
- 2012年3月2日(金)、4日(土) Potchestroom, South Africa
- グライダー100年を記念して南アからの招待があり、それを承認。

ゲストスピーカーの講演

- (7) FAI 会長 Dr. John Grubbstrom
- CIA (気球) 会長、FAI のブランドイメージを上げることが世の中で航空スポーツの関心を集めることに繋がり、結果的に企業等からの支援の増加となる。このように努めよう。
- 航空スポーツの普及には、アジア各国の開拓が必要。など
- IGC 総会直後に日本の気球協会総会に出席する予定とのこと。
- (8) Guest Speaker 提言 Safety Pays

Helmut Fendt Chairman of OSTIV Sailplane Development Panel

2009年 IGC 総会で機体の墜落時安全性（生命保護）について、今まで見逃されていた安全に関する提言がありました。基礎的事実の説明や目的は良しとして、その実現手段の提言は、機体設計の根本的変更など現実性に乏しい感がありました。

今回はまず、競技会で安全策を採用している選手の優遇、既存の機体でも簡単に実現できる数多くの救命上効果あるアイデアをその予想効果算定を含めてリストアップ、などが提言され、大変現実的になりました。例えば下記。

キャノピーにサイドストリングを付け、失速警報機として使用する。

機体からのバイルアウト時間短縮のため、自分の機体で地上で練習する。

(9) 総会参加者

* IGC 役員

会長：Robert Henderson（総会議長 広報）

名誉会長：Tor Johannessen（History）、Peter Ryder（Web Management）、

筆頭副会長：Eric MOZER（競技会）

副会長：Göran Ax（Sporting Code）、Visa-Matti Leinikki（競技ソフトウェア）、
Peter Platzer、Brian Spreckley（Sporting Code World Air Games）、
Rolland Stuck（13.5m Class Grand Prix）

会計：Richard Bradley

事務局：Peter Eriksen

* FAI 下記および事務局員合計 10 名

事務局長：Stéphane Desprez

Sports Manager：Rodric Neri、History Group：Angela Einor Sheard

* FAI Commission

Environment ANDS：Bernard Smith（航空再開のころの JAL マーチン 202 副操縦士）

Airspace & Navigation System CANS：Ian Strachan

* Delegate の出席 下記 26 カ国

Argentina, Australia, Belgium, Canada, Colombia, Czech Republic, Denmark,

Finland, France, Germany, Greece, Hungary, Italy, Japan, Netherlands,

New Zealand, Poland, Portugal, Russia, Slovakia, Slovenia, Switzerland, TURKEY,

USA, UK

その他数カ国が特定国 Delegate に委任して採決に参加

(10) 感想

会長 Bob Henderson の議事進行は適切かつ明快で、アジェンダとともに総会で議論すべき重要課題をあらかじめ Delegate に通知するなどを含め、毎回感心させられます。

昨年 FAI 会長に立候補しましたが、将来の FAI 会長として適任と思います。

FAI 及び IGC とともに役員各位が単なる名誉職では無く、ボランティア組織でもプロフェッショナルとして自分の担当業務を十分こなしており、毎回内容ある発表や組織運営を行っているのを見て、ボランティア組織運用で欧米諸国と我が国では大きな差を感じます。

この季節、Lausanne は空は曇っていないのに霧かかすみがかかっている薄暗く、湖畔近くでもレマン湖、ましてやモンブランは見えませんでした。ヨーロッパ中このような天気では飛べないので“会議”でもするかということのようです。

Lausanne の地下鉄が完成し、IGC 指定ホテル (Hotel AuLac) のすぐ裏がターミナル駅 (Ouchy) になり、Lausanne 駅 (Gare) は4つ目、大変便利になりました。ホテルで貰える交通機関無料パスが使えます。地下鉄は“ゆりかもめ”のように無人運転です。ヨーロッパ流で駅に改札も無く、万一検札で不正乗車で捕まると多額の罰金を科せられる。

(1 1) 参考資料

- * Agenda of the Annual Meeting of the FAI Gliding Commission
http://www.fai.org/gliding/system/files/igc_agenda2011_1.pdf
- * IGC Plenary Meeting、Lausanne 4th.and 5th.March 2011 Decisions
http://www.fai.org/gliding/system/files/IGC_Plenum_2011_Decisions.pdf
- * President's Letter to Delegates and Committee members
http://www.fai.org/gliding/system/files/Letter_to_Delegates_21_Feb_11.pdf
- * FAI Gliding Commission Meeting 2011 Lausanne Switzerland 2nd.-5th.March 2011
http://www.fai.org/gliding/system/files/Programme_IGC_Meeting_2011.pdf
- * Minutes of the Annual Meeting of the FAI Gliding Commission
held at Lausanne, Switzerland on 5th.and 6th. 2010
http://www.fai.org/gliding/system/files/igc_minutes2010.pdf
- * 2011 年の IGC Plenary Meeting の Minutes はまだ発刊されておられません。
- * FAI の URL <http://www.fai.org/>
- * IGC の URL <http://www.fai.org/gliding/>
- * FAI Who's who
<http://www.fai.org/directory>
- * IGC Who's who
<http://www.fai.org/directory/delegates.asp?id=6>
- * OSTIV の URL <http://www.ostiv.fai.org/>

以上